「小学校の外国語活動及び英語活動等に関する現状調査」(平成27年12月実施) (国・公・私立小学校対象) 報告書 結果概要

公益財団法人 日本英語検定協会 英語教育研究センター

平成22年に開始した「小学校の外国語活動及び英語活動等に関する現状調査」も、今回の平成27年度調査で6回目を迎えました。今回の調査では、国・公・私立小学校全ての設置者を対象(3,000件)に調査依頼し、合計1,114件(回収率38.1%)の回答を得ました。

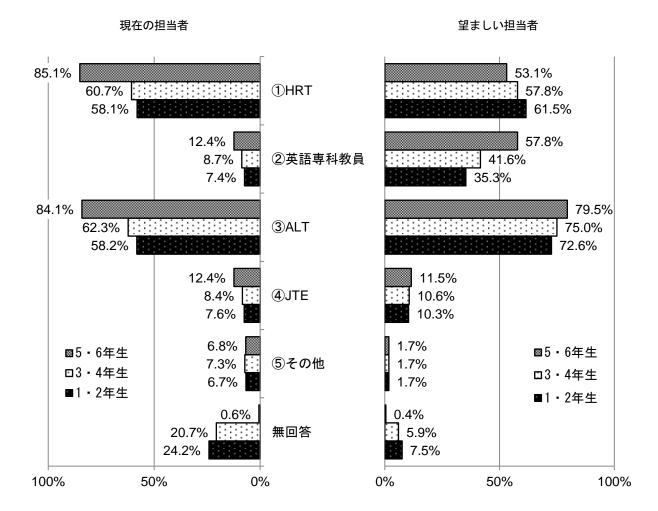
調査結果のポイントは以下の通りです。

- ◆英語専科教員を望む声は昨年度以上に増えており、全学年群で昨年度比 5~7%の増加となっている。
- ◆小学校 1・2 年生の外国語活動が必要であるという声は増加傾向にあり、一昨年度 67.1%、昨年度 72.5%、今年度 75.7%となっている。
- ◆教員研修に参加する予定があるのは 76.6%で、昨年・一昨年度と比較してみても大きな変化 はない。
- ◆英語に多く触れさせるためのモジュール活用を考える学校が62.4%と半数以上にのぼる。
- ◆これからのデジタル教材として、約65%がタブレット端末に期待を寄せている。
- ◆読み書きを含めた指導については 70%以上が賛成であった。
- ◆外国語活動の評価については、例年通り観察記録が 91.7%と最多であった。
- ◆現時点ではテストによる評価を望む声は少なく、72.8%が不要と回答した。観察記録やワークシートの記入等を評価に利用する教員が多く、観察記録が91.7%、ワークシートが51.7%という結果になっている。
- ◆外国語活動の問題や課題については、「教員の指導力・技術」が最多、次に「指導方法・内容」、 「ALT との打ち合わせ時間」が多く挙げられた。
- ◆外国語活動の進行状況に関しては「順調に進んでいる」「課題はあるが、進んでいる」と回答 した学校が全体の88.0%であった。
- ◆外国語活動の導入の効果や影響に関しては、「児童の外国語や異文化理解の向上」が 69.7%、「児童のコミュニケーション能力や積極性の向上」が 41.0%となった。一方で、「教員の指導力、英語力等に関する悩み」と回答したのは 52.3%、「教員の負担(仕事量・時間等)」が 43.4%、「ALT との連携不足」が 41.0%と課題があることも浮き彫りとなった。

上記ポイントを含む結果概要については、次頁以降をご覧ください。

■「外国語活動」の担当者について〈質問1〉

- 1-1 貴校での現在の外国語活動及び英語活動のご担当者を、学年群ごとに全て選んでください。
- 1-2 現時点での実施の有無にかかわらず、今後外国語活動及び英語活動を展開する際に望ましいと思われるご担当者を、 学年群ごとに全て選んでください。
- ◎各学年とも「ALT」「HRT」が多く、50 ポイント以上の差で「英語専科教員」「JTE^{※1}」「その他」が続く。この傾向は去年と変わらない。
 - 5 · 6 年生···ALT 84. 1% HRT 85. 1% 3 · 4 年生···ALT 62. 3% HRT 60. 7% 1 · 2 年生···ALT 58. 2% HRT 58. 1%
- ◎「望ましい指導者」は全学年で「ALT」がトップで、「HRT」は1・2年生および3・4年生で2位、5・6年生のみ「英語 専科教員」が57.8%で2位となっている。(「HRT」は53.1%で3位)
- ◎「英語専科教員」を望む声は昨年に続き高く、高学年ほどその傾向が強い。
- 5・6 年生…57.8%(昨年度 52.2%) 3・4 年生…41.6%(昨年度 34.6%) 1・2 年生…35.3%(昨年度 29.8%) 尚、実際に「英語専科教員」が採用されているのは希望している学校の 20%ほどである。
- ※1…JTE (Japanese Teacher of English)…日本人英語指導員。教員免許の有無に関わらず、児童・生徒に英語の指導を行う。
- 1-1 「現在の外国語活動及び英語活動のご担当者」と 1-2 「望ましいと思われるご担当者」の比較



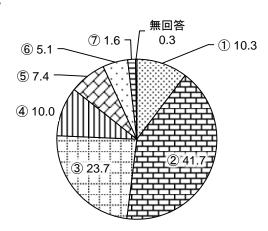
■1・2 年生の外国語活動について〈質問 2〉

- 2-1 貴校の1・2年生の英語活動についてのお考えを1つ選んでください。
- 2-2 2-1 で、①~③を選ばれた方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。
- 2-3 2-1 で、⑤・⑥を選ばれた方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。
- ◎「外国語活動を必要」※2とする声は75.7%(昨年度72.5%)を占めている。
- ◎国・私立をみると 90%前後が「外国語活動を必要」としており、公立のみでも 74.0%が必要と回答している。
- ※2…「①5・6年生同様に必要」「②時間数が少なくても必要」「③どちらかといえば必要」を統合した回答

2-1 貴校の1・2年生の英語活動についてのお考えを1つ選んでください。

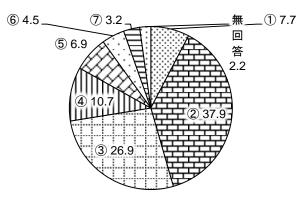
【総合編(今年度)】

	選択肢	回答数	N=1, 144
	① 5・6 年生同様に必要	118	10.3%
Ħ	② 時間数が少なくても必要	477	41.7%
:::	③ どちらかといえば必要	271	23. 7%
	④ あってもなくても構わない	114	10.0%
\sim	⑤ どちらかといえば必要ない	85	7.4%
··.	⑥ 必要ない	58	5. 1%
	⑦ わからない	18	1.6%
•••••	無回答	3	0.3%



【総合編(昨年度)】

	選択肢	回答数	N=1, 684
	① 5・6 年生同様に必要	129	7. 7%
Ŧ	② 時間数が少なくても必要	638	37. 9%
••••	③ どちらかといえば必要	453	26. 9%
	④ あってもなくても構わない	180	10.7%
ZZ	⑤ どちらかといえば必要ない	117	6. 9%
٠	⑥ 必要ない	76	4. 5%
	⑦ わからない	54	3. 2%
:::::	無回答	37	2. 2%



【設置者別編(今年度)】

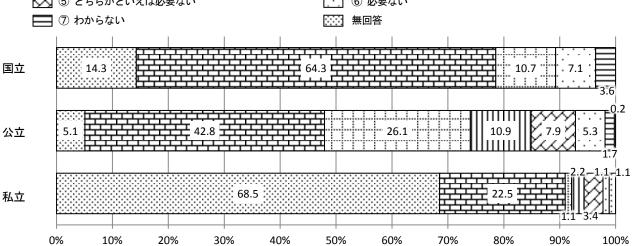
① 5・6 年生同様に必要 ③ どちらかといえば必要

⑤ どちらかといえば必要ない

② 時間数が少なくても必要

Ⅲ ④ あってもなくても構わない

[...] ⑥ 必要ない



■教員研修について〈質問3〉

3-1 平成27年度の4~12月までに貴校の先生方は外国語活動及び英語活動に関する研修会や研究発表会に参加(実施) されましたか。または、同年度の3月までに参加(実施)予定はありますか。該当する項目を1つ選んでください。 3-2 現在、参加されている教員研修(または自己学習)に該当する項目を全て選んでください。

3-3 最も必要と思われる教員研修の内容を1つ選んでください。

◎「教員研修に参加(実施)している」が 76.6% (昨年度 70.1%)、「参加(実施)していない」が 21.0% (昨年度 27.0%)となった。昨年度・一昨年度と比較すると大きな変化はない。

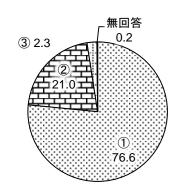
◎参加者の 93.5%が「公費 (または無料) の教育委員会等の集合研修」に参加 (1 位)。2 位の「自費で自己学習 (英会話スクール・通信教育等)」は 14.2%となり、大きな差がある。

◎最も必要と思われる研修は「指導法」が 57.9%で 1 位、次いで「教員の英語能力向上」が 19.0%となり、以下昨年度と大きな変化はない。

3-1 平成 27 年度の 4~12 月までに貴校の先生方は外国語活動及び英語活動 に関する研修会や研究発表会に参加(実施)されましたか。

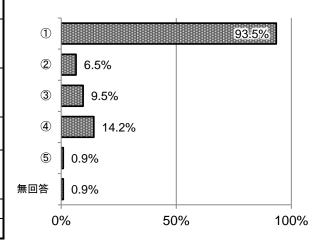
または、同年度の3月までに参加(実施)予定はありますか。

	選択肢	回答数	N=1, 144
	① 参加(実施)している(予定がある)	876	76.6%
Н	② 参加 (実施) していない (予定はない)	240	21.0%
	③ わからない	26	2.3%
	無回答	2	0.2%



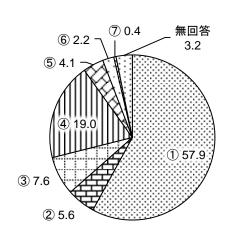
3-2 現在、参加されている教員研修(または自己学習)に該当する項目を全て選んでください。

選択肢	回答数	N=876
① 公費(または無料)で集合研修(教育委員会や学校主催の研修やセミナー等)に参加して	819	93. 5%
いる		
② 公費 (または無料) で自己学習 (英会話学校、 e ラーニング、通信教育、書籍、教材等の利 用) している	57	6. 5%
③ 自費(または有料)で集合研修(外部団体の主催する学会やセミナー等)に参加している	83	9. 5%
④ 自費 (または有料) で自己学習 (英会話学校、 e ラーニング、通信教育、書籍、教材等の利 用) している	124	14. 2%
⑤ その他	8	0.9%
無回答	8	0.9%



3-3 最も必要と思われる教員研修の内容を1つ選んでください。

	選択肢	回答数	N=1, 134
	① 指導法	657	57.9%
H	② カリキュラム等指導計画	63	5.6%
	③ ALT や JTE (ボランティア含む)等との連携に関する内容	86	7.6%
Ш	④ 教員自身の英語力向上に関する 内容	216	19.0%
$\gamma\gamma$	⑤ 評価方法	46	4.1%
٠.٠.	⑥ 他校の実施事例	25	2.2%
	⑦ その他	5	0.4%
	無回答	36	3.2%



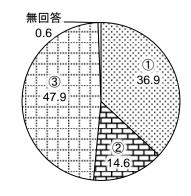
■モジュールの活用〈質問 4〉

- 4-1 外国語(英語)の授業にモジュールを利用することについて、最も該当する項目を1つ選んでください。
- 4-2 4-1 で「1. よい(または効果的だ)と思う」を選ばれた方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を 1 つ選んでください。
- 4-3 5・6 年生の外国語活動が教科化された場合、貴校においてより望ましいと思われる 1 週間あたりの時間及び形態を 1 つ選んでください。
- ◎モジュールの利用の良し悪しについて、「どちらともいえない」が 47.9%で最多。「よいと思う」は 36.9%、「よいと思わない」は 14.6%となり、迷っているものの、比較的肯定的であると捉えられる。
- ◎よいと考える理由は、「英語は短時間でも多くふれた方がよい」が 62.4%で最多、次いで「時間確保が難しい場合、モジュールが利用できる」が 22.4%。短時間の授業を積極的に捉えている。
- ◎外国語活動が教科化された時の1週間あたりの時間・形態は「授業1時間(45分)」が53.5%、「授業2時間(45分2回)」が20.8%となる。モジュールを活用する場合に最も支持されたのは「授業1時間と10分間のモジュール4~5回(授業1時間分)」の9.4%である。モジュール利用の有無に関わらず、「授業1時間分」が望ましいと回答したのは69.6%、「授業2時間分」が望ましいと回答したのは24.0%だった。

設置者別にみると、公立は「授業 1 時間 (45 分)」が 58.7%で最多、国・私立は「授業 2 時間 (45 分 2 回)」の 50%前後 が最多となる。私立は「その他」が 21.3%で、記述回答の 18 例中 13 例が「授業 3 時間分以上 (モジュールを含む)」で あった。また、公立の「その他」では、記述回答の 12 例中 9 例がモジュールを活用した授業展開であった(授業 1 時間 と 15 分間のモジュール 3 回等)。

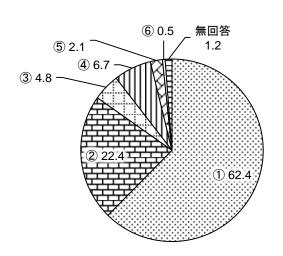
4-1 外国語(英語)の授業にモジュールを利用することについて、 最も該当する項目を1つ選んでください。

	選択肢	回答数	N=1, 143
	① よい (または効果的だ) と思う	422	36.9%
$\dot{\Pi}$	② よい (または効果的だ) とは思わない	167	14.6%
	③ どちらともいえない	547	47.9%
	無回答	7	0.6%



4-2 4-1 で「1. よい(または効果的だ)と思う」を選ばれた方のみに 伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。

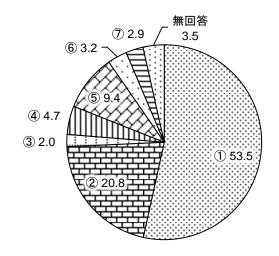
	選択肢	回答数	N=420
	① 外国語 (英語) は短時間でも多く触れ た方がよい	262	62. 4%
H	② 外国語(英語)の時間確保が難しい場合、モジュールが活用できる	94	22. 4%
	③ 外国語 (英語) 活動に必要な準備等の ための教員の負担が少なくなる	20	4.8%
Ш	④ 普段の授業を補う内容(復習や実践 等)ができる	28	6. 7%
ZZ	⑤ 朝の時間や休み時間等を有効に活用できる	9	2. 1%
	⑥ その他	2	0.5%
	無回答	5	1.2%



4-3 5・6 年生の外国語活動が教科化された場合、貴校においてより 望ましいと思われる1週間あたりの時間及び形態を1つ選んでください。

【総合編】

	選択肢	回答数	N=1, 143
	① 授業 1 時間 (45 分)	611	53. 5%
H	② 授業 2 時間 (45 分 2 回)	238	20.8%
· : · :	③ 10 分間のモジュール 4~5 回(授業 1 時間分)	23	2.0%
Ш	④ 15 分間のモジュール 3 回(授業 1 時間分)	54	4. 7%
\boxtimes	⑤ 授業 1 時間と 10 分間のモジュール 4 ~5 回 (授業 1 時間分)	107	9. 4%
	⑥ 授業 1 時間 (45 分) と 15 分間のモジュール 6 回 (授業 2 時間分)	37	3. 2%
	⑦ その他	33	2.9%
	無回答	40	3. 5%



【設置者別編】

① 授業 1 時間 (45 分)

③ 10 分間のモジュール 4~5 回(授業 1 時間分)

② ⑤ 授業1時間と10分間のモジュール4~5回

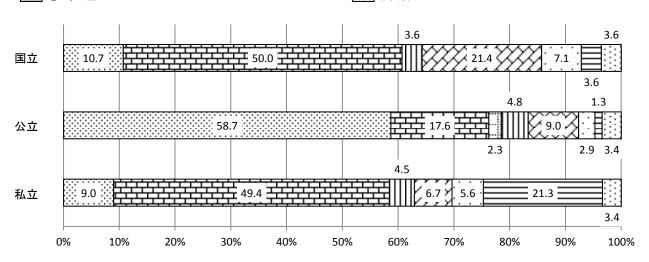
■ ⑦ その他

② 授業 2 時間 (45 分 2 回)

Ⅲ ④ 15 分間のモジュール 3 回 (授業 1 時間分)

[・・・] ⑥ 授業1時間 (45分) と15分間のモジュール6回

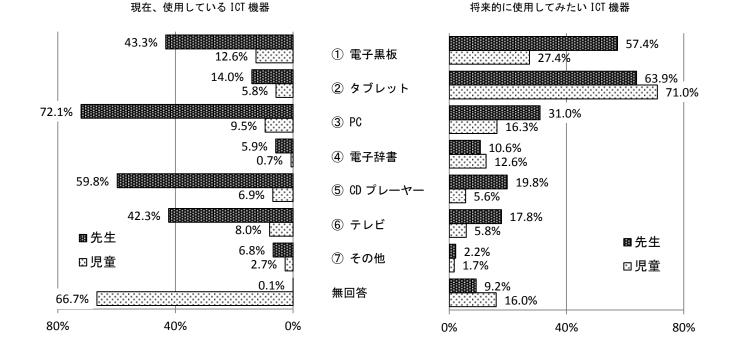
無回答



■デジタル教材の使用〈質問5〉

- 5-1 ICT (デジタル) 機器及びその他の機材を使用していますか。該当する項目を1つ選んでください。
- 5-2-1 現在、使用している ICT 機器及びその他の機材を使用者(先生または児童)ごとに全て選んでください。
- 5-2-2 授業 1 時間 (45分) あたりの使用時間について、最も該当する項目を 1 つ選んでください。
- 5-3 将来的に使用してみたいと思われる ICT 機器及びその他の機材を使用者(先生または児童) ごとに全て選んでください。
- ◎デジタル教材を使用していると回答したのは92.2%と多数である。
- ◎先生が使用する機器・機材は「PC」が 72.1%と最多。児童が使用する機材は「電子黒板」が 12.6%と最多だが、「無回答」が 66.7%となっており、児童はデジタル教材を直接使用していない場合も多いと考えられる。
- ◎将来使用したいデジタル教材は、先生・児童使用ともに「タブレット端末」が最多で、それぞれ 63.9%、71.0%である。語学教育ツールとしてのタブレット端末への期待の高さが伺える。
- ◎授業1回あたりのデジタル教材の使用時間は、「5分以上10分未満」「10分以上20分未満」あわせて70.6%を占めている。

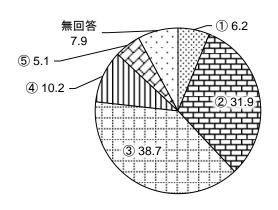
5-2-1 「現在、使用している ICT 機器」と 5-3 「将来的に使用してみたい ICT 機器」の比較



5-2-2 授業 1 時間 (45 分) あたりの使用時間について、

最も該当する項目を1つ選んでください。

	選択肢	回答数	N=1, 054
	① 5 分未満	65	6. 2%
\mathbb{H}	② 5 分以上~10 分未満	336	31.9%
	③ 10 分以上~20 分未満	408	38. 7%
	④ 20 分以上~30 分未満	108	10. 2%
ZZ	⑤ 30 分以上	54	5.1%
٠	無回答	83	7.9%



■読み書きを含めた指導について〈質問 6〉

- 6-15・6年生で読み書きを含めた指導を行うことについて、最も該当する項目を1つ選んでください。
- 6-2 ①・②を選んだ方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。
- 6-3③・④を選んだ方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。
- ◎今年度は「賛成」「どちらかといえば賛成」「どちらかといえば反対」「反対」の4択とした。

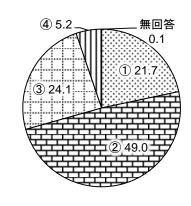
(昨年度は「賛成」「どちらともいえない」「反対」の3択)

- ◎その結果、「賛成派」が 70.7%、「反対派」が 29.3%となり、賛成派が多数となった。最も選ばれたのは「どちらかといえば賛成」で 49.0%であった。
- ◎公立では「反対派」が31.9%、一方私立では「賛成派」が96.6%、国立はその中間となっており、各設置者の特徴が伺える。
- ◎賛成の理由は、「小中連携に効果的」が 27.3%、「中学入学前に文字への抵抗が減る」が 23.2%、「児童が文字に関心を示している」が 14.1%となった。
- ◎反対の理由は、「児童にとって負担や不安がある」が49.8%、「別の指導内容(活動)を優先すべき」が30.3%となっている。
- ◎尚、昨年度は「賛成」が 25.7%、「どちらともいえない」が 50.2%、「反対」が 22.7%となっている。今年度はアンケートの選択肢を変更したため、昨年度は「どちらともいえない」と回答した層の大半が「どちらかといえば賛成である」と回答し、賛成派がより多数であることが明確となった。

6-1 5・6 年生で読み書きを含めた指導を行うことについて、最も該当する項目を1つ選んでください。

【総合編】

	選択肢	回答数	N=1, 144
	① 賛成である	248	21.7%
\Box	② どちらかといえば賛成である	560	49.0%
	③ どちらかといえば反対である	276	24. 1%
	④ 反対である	59	5. 2%
$\gamma\gamma$	無回答	1	0.1%



【設置者別編】

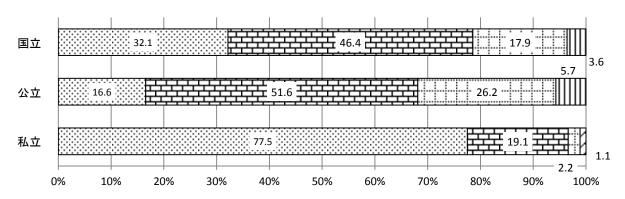
1 賛成である

..... ③ どちらかといえば反対である

三 ② どちらかといえば賛成である

Ⅲ ④ 反対である

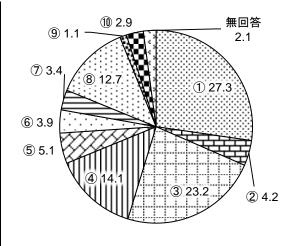
人 無回答



6-2 「1. 賛成である」「2. どちらかといえば賛成である」を選んだ方のみに伺います。

その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。

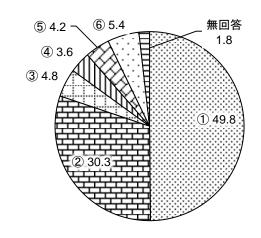
	選択肢	回答数	N=802
	① 中学校での学習との連携が取れる	219	27. 3%
	② 文字学習に効果的な学年である	34	4. 2%
	③ 中学入学前に文字への抵抗感が減る	186	23. 2%
Ш	④ 児童が文字に関心を示している	113	14. 1%
Z	⑤ 「読む」だけなら良い	41	5. 1%
• . • .	⑥ アルファベットであれば良い	31	3.9%
	⑦ 簡単な単語 (3 文字単語等) であれば良い	27	3.4%
333	⑧ 児童の学習内容に合っていれば良い	102	12. 7%
933	⑨ 活動時間が増えるなら行っても良い	9	1. 1%
53	⑩ その他	23	2. 9%
EΣ	無回答	17	2.1%



6-3 「3. どちらかといえば反対である」「4. 反対である」を選んだ方のみに

伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。

	選択肢	回答数	N=333
	① 児童にとって負担や不安がある	166	49.8%
Ħ	② 別の指導内容(活動)を優先すべき	101	30.3%
:	③ 指導する余裕が (教員に) ない	16	4.8%
	④ 教員の負担が増える	12	3.6%
\$	⑤ 専門教員でないと指導できない	14	4.2%
	⑥ その他	18	5. 4%
	無回答	6	1.8%

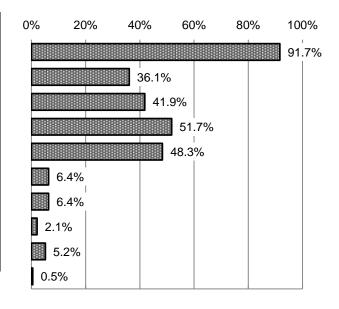


■外国語活動の評価〈質問7〉

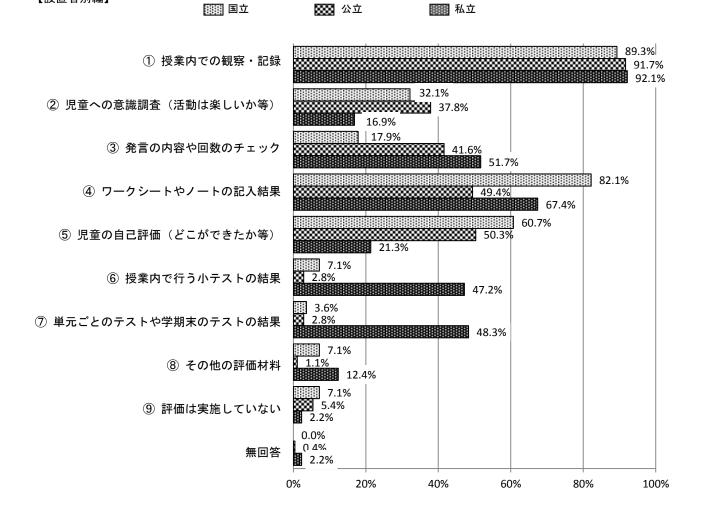
- 7-1 現在の外国語活動における児童への評価材料について、該当する項目を全て選んでください。
- 7-2 外国語活動の成果を測るために、小学校卒業時までになんらかの考査(テスト)が必要と思われますか。最も該当する項目を1つ選んでください。
- 7-3 7-2 で①・②を選ばれた方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。
- 7-4 7-2 で③・④を選ばれた方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。
- ◎「授業での観察・記録」が91.7%で例年通り最多。次いで「ワークシートやノートの記入結果」が51.7%となり、昨年2位だった「自己評価」は48.3%となった。その他、「発言内容や回数」が41.9%、「児童への意識調査」が36.1%となっている。
- ◎テストの実施については、私立が50%近くと高いが、国・公立は10%未満となっている。
- ◎テストの必要性については、不要派が 72.8%となり、昨年度と大きな変化はない。
- 必要派の理由は、「習熟度の把握」が35.7%、「客観的評価のため」が26.0%、「指導の研究・改良のため」が16.9%となった。 昨年度多かった「小中連携」「児童の意欲向上」は少数にとどまった。(昨年度は記述式回答)
- ◎不要派の理由は、「評価の3観点にそぐわない」が23.7%、「外国語活動に親しむことができればよい」が26.9%、「英語が苦手になる」が13.4%、「評価規準が明確でない」が9.4%となった。
- 7-1 現在の外国語活動における児童への評価材料について、該当する項目を全て選んでください。

【総合編】

選択肢	回答数	N=1, 144
① 授業内での観察・記録	1,049	91.7%
② 児童への意識調査 (活動は楽しいか等)	413	36. 1%
③ 発言の内容や回数のチェック	479	41.9%
④ ワークシートやノートの記入結果	592	51.7%
⑤ 児童の自己評価 (どこができたか等)	553	48. 3%
⑥ 授業内で行う小テストの結果	73	6. 4%
⑦ 単元ごとのテストや学期末のテストの 結果	73	6. 4%
⑧ その他の評価材料	24	2.1%
⑨ 評価は実施していない	59	5. 2%
無回答	6	0.5%

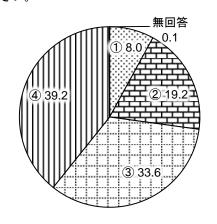


【設置者別編】



7-2 外国語活動の成果を測るために、小学校卒業時までになんらかの 考査 (テスト) が必要と思われますか。最も該当する項目を1つ選んでください。

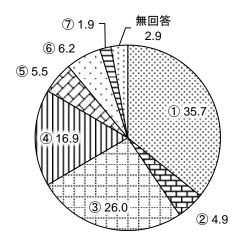
	選択肢	回答数	N=1, 144
	① 必要だと思う	91	8.0%
H	② どちらかといえば必要だと思う	220	19. 2%
	③ どちらかといえば必要だとは思わない	384	33.6%
	④ 必要だとは思わない	448	39. 2%
\sim	無回答	1	0.1%



7-3 7-2 で「1. 必要だと思う」「2. どちらかといえば必要だと思う」を 選ばれた方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。

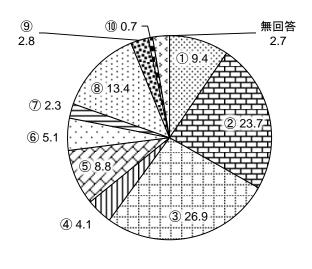
	選択肢	回答数	N=308

	① 習熟度を把握するために必要である	110	35. 7%
\blacksquare	② 技能を測るために必要である	15	4.9%
••••••	③ 客観的な評価を行うために必要である	80	26.0%
\prod	④ 指導法の研究・改良につながる	52	16.9%
K.A.I	⑤ 中学入学時のギャップを埋めることが	17	5, 5%
7.7	できる	11	3. 5/0
٠.٠.	⑥ 児童の意欲向上につながる	19	6.2%
	⑦ その他	6	1.9%
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	無回答	9	2.9%



7-4 7-2 で「3. どちらかといえば必要だとは思わない」「4. 必要だとは思わない」を 選ばれた方のみに伺います。その理由として、最も該当する項目を1つ選んでください。

	選択肢	回答数	N=826
	① 評価規準が明確でない	78	9.4%
Ħ	② 外国語活動のねらい (3 観点) に そぐわないと思う	196	23. 7%
	③ 外国語・異文化に親しむことがで きれば十分である	222	26. 9%
Ш	④ 評価するなら指導法を変えるべきだと思う	34	4. 1%
$\Sigma\Sigma$	⑤ 教科化された時点で実施することだと思う	73	8.8%
·.·.	⑥ 中学以降で実施することだと思う	42	5. 1%
	⑦ 準備体制が整っていない状況である	19	2. 3%
333	⑧ 児童の苦手意識につながる可能 性がある	111	13. 4%
888	⑨ 児童の負担が増える可能性がある	23	2.8%
	⑩ その他	6	0.7%
```	無回答	22	2.7%



#### ■外国語活動の問題・課題〈質問8〉

質問 8 現在、貴校の  $5\cdot 6$  年生の外国語活動において、問題や課題であると感じていることはありますか。  $1\sim 11$  の選択肢の中から該当する項目を上位 3 つまで選び、優先度が高い順に 1 位、2 位、3 位として、その選択肢番号をご記入ください。 (1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点とし、その合計を総得点とした。)

◎1 位は「教員の指導力・技術」1,729 点、2 位は「指導内容・方法」1,363 点、3 位は「ALT との打ち合わせ時間」994 点となり、昨年度と大きな変化はない。

国立…1 位「指導内容・方法」29点,2位「教員(HRT等)の指導力・技術」28点

3位「評価内容・方法」20点, 4位「指導計画」18点

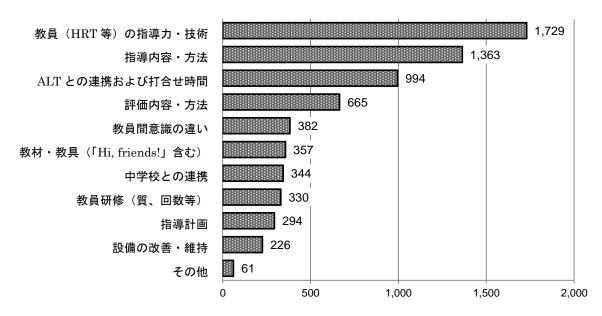
公立···1 位「教員(HRT等)の指導力・技術」1,643点、2 位「指導内容・方法」1,195点

3位「ALTとの連携及び打ち合わせ時間」959点、4位「評価内容・方法」594点

私立…1 位「指導内容・方法」126点, 2位「中学校との連携」76点

3位「指導計画」67点、4位「教員(HRT等)の指導力・技術」49点

質問8現在、貴校の5・6年生の外国語活動において、問題や課題であると感じていることはありますか。



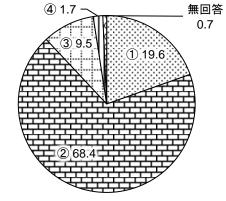
#### ■外国語活動の進み具合〈質問 9〉

質問 9 外国語活動必修化から 4 年以上が経ちましたが、貴校での  $5\cdot 6$  年生での外国語活動は順調に進んでいると思われますか。最も該当する項目を 1 つ選んでください。

◎「順調に進んでいる」「課題はあるが、進んでいる」の回答が 88.0%となり、昨年度・一昨年度とあまり変化はない。 選択肢別に見ても、昨年との変化はさほど見られない。

質問9 外国語活動必修化から4年以上が経ちましたが、 貴校での5・6年生での外国語活動は順調に進んでいると思われますか。 最も該当する項目を1つ選んでください。

	選択肢	回答数	N=1, 144
	① 順調に進んでいる	224	19.6%
Н	② 課題はあるが、進んでいる	783	68.4%
••••••	③ 課題があり不安が残る	109	9.5%
$\prod$	④ 順調に進んでいるとはいえない	20	1.7%
$\sim$	無回答	8	0.7%

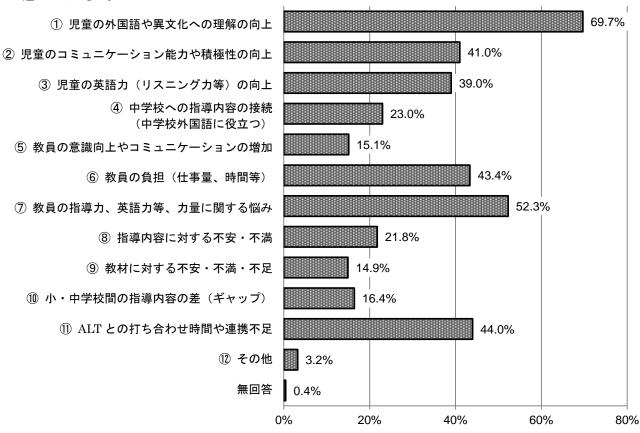


### ■外国語活動の導入が、教員や児童に与える影響や変化 〈質問 10〉

質問 10 外国語活動及び英語活動の導入により、貴校(教員・児童)に生じた影響や変化はありますか。該当する項目を全て選んでください。

- ◎「児童の外国語や異文化への理解の向上」が 69.7%で 1 位。「教員の指導力、英語力等、力量に関する悩み」が 52.3%、「ALT との打ち合わせや連携不足」が 44.0%、「教員の負担 (仕事量、時間等)」 43.4%、「児童のコミュニケーション能力や積極性の向上」が 41.0%と続く。
- ◎児童の理解・能力の向上といったプラス面と、教員の指導に対する悩みや負担などのマイナス面が並存しているのは、 昨年と変わらない。
- ◎私立は国・公立と比べマイナス面の回答が少ない傾向にあり、児童の理解・能力向上といったプラス面が目立って見られる。また、「その他」の記述回答で「すでに長年英語教育を実施してきたので、最近特別の変化はない」という内容が多く見られた(16 例中 13 例)。

質問 10 外国語活動及び英語活動の導入により、貴校(教員・児童)に生じた影響や変化はありますか。該当する項目を全て選んでください。



以上